

第1号議案

平成30年度 ひろしま木造建築協議会 事業報告

1 総会事業

会議名	期日	場所	内容
通常総会	平成30年5月25日	県民文化センター (広島市中区大手町)	H29事業報告 H30事業計画(案)等

2 プロジェクト発掘

(1) 研修会

日程	内容
平成30年12月21日	◆子育て支援施設を運営する事業者等を対象とした研修会 ・参加対象:子育て関連施設運営者, 木材関係者, 建築関係者等 ・認定こども園の園長先生から「木の空間が子どもたちの育ちや, 保護者・職員に与える影響」などについて情報提供 ・木造建築を検討する事業主と木材関係事業者のネットワークと情報共有につながり, 木材需要の拡大に発展

3 スキルアップ研修

期日	内容
平成30年5月25日 (総会終了後)	◆技術研修会(県民文化センター 参加者:30名) 【事例発表】 ・協議会会員が設計・監理を行った木造建築物の事例を紹介 ➢道の駅センザキッチン 柴田安章(㈱NSP設計) ➢事務所 酒井俊壮(㈱酒井建築コンサルタント) ➢看護小規模多機能施設 立石光紀(㈾立石建築設計) 【パネルディスカッション】 パネリスト:事例発表者3名(柴田, 酒井, 立石) 司会進行:安田哲也(NPO法人サウンドウッズ)
平成30年11月27日	◆第1回ワークショップ(広島YMCA国際文化センター 参加者:30名) テーマ:県産材供給体制の他県事例及び県内事例に学ぶ ・静岡県の供給体制構築の事例及び県西部木材振興協同組合の取組事例について情報提供
平成30年12月21日	◆第2回ワークショップ(県民文化センター 参加者:38名) テーマ:地域材を活用した木造建築の事業主・利用者メリットを考える ・木材利用促進に向けた国の取組(林野庁), 木の子育て空間が子どもに与える影響(こども園園長), 社会に求められる木のアイテム(木製品製造業者)について情報提供
平成31年1月23日	◆第3回ワークショップ(広島YMCA国際文化センター 参加者:24名) テーマ:無理なく供給できる県産部材リストとその活用 ・事業主の疑問や不安に答えるために必要な, ユーザー効果やコストメリットなどの情報収集と, 木の建築をPRする協議会の役割について意見を交換

4 県産材製品調達情報調査

期日	内容
平成30年10月9日	<ul style="list-style-type: none"> ◆第1回検討会(県庁会議室) ・参加者:6名(木材供給事業者, オブザーバー等) ・JAS材の活用や県産材の流通状況などについて取りまとめを行い, 部材リストの必要性などを参加者全員で共有
平成30年12月6日	<ul style="list-style-type: none"> ◆第2回検討会(㈱プレゼントデザイン事務所) ・参加者9名(建築士, 木材供給事業者, 行政等) ・県産部材リストの作成とその後の運用について検討
平成30年12月21日	<ul style="list-style-type: none"> ◆第3回検討会(県庁会議室) ・参加者8名(建築士, 木材供給事業者, 行政等) ・県産部材リスト作成のねらい, 取扱範囲, 建築士が知りたい情報(供給可能量, 調達納期, 調達難易度とコストの目安)の整理
平成31年1月23日	<ul style="list-style-type: none"> ◆第4回検討会(県庁会議室) ・参加者7名(建築士, 木材供給事業者, 行政等) ・県産部材リストの原案をベースに, 認定こども園の木造化に係る木材調達を検討し, 調達に係るポイントの整理と問題点を共有

5 その他

期日	内容
平成30年11月5日	<ul style="list-style-type: none"> ◆木造建築促進シンポジウム(東広島文化芸術ホールくらら) ・パネルディスカッションのパネリストとして, ひろしま木造建築協議会に依頼があり, 柴田会長が出席 (内容) 【基調講演】 テーマ:なぜ木造建築なのか・・・その可能性と課題を探る 安藤直人(東京大学名誉教授) 【パネルディスカッション】 テーマ:未来志向の木造建築について コーディネーター:安藤直人 パネリスト:福田淳(県林業振興部長), 木村彰孝(広島大学准教授) 菅野康則(県木連会長), 柴田安章(ひろしま木造建築協議会会長)
平成30年3月11日	<ul style="list-style-type: none"> ◆公共建築物等整備促進成果報告会(木材会館 東京都江東区) ・公共建築物等の木造化・木質化を推進する団体を支援する林野庁の補助事業に「ひろしま木造建築協議会」として採択を受け, 専門家の技術支援により取り組んだ成果を報告 (取組内容) ・県産部材リストの取りまとめと, 木の建築を実現するための手引きのひな型作成を成果目標に, ワークショップの開催と県産部材リスト作成の検討会を実施 (報告者) ・柴田会長, 酒井副会長, 栗栖(事務局)